

平成25年度第4回森林^{もり}の未来を考える懇談会資料

平成25年度の 森林環境基金事業進捗状況について

- 平成25年度森林環境基金事業の枠組(2月補正)
- 平成25年度(2月補正)森林環境基金充当事業一覧表
- 平成25年度の森林環境基金事業実績見込について

平成26年3月25日

福島県 農林水産部 森林計画課

平成25年度森林環境基金事業の枠組(2月補正)

税込 10.87億円(見込)
 【個人事業者・給与所得者 8.83億円 法人 2.04億円】

県・市町村の徴収取扱費
 0.76億円(税込の7%)

森林環境基金 14.51億円
 【今年度繰り入れ 10.11億円+0.19億円+前年度からの繰り越し4.21億円】
 国庫の活用208,900千円→平成25年度事業費:1,400,453千円(1,559,168千円)

県事業 10.52億円 (11.78億円)

**森林の未来を考える
 懇談会
 意見・事業評価**

市町村事業 3.48億円 (3.81億円)

(12-1)

【単位:千円】

森林環境を保全するための事業 1,011,601 (1,126,330)	もり 森林づくりの意識を醸成するための事業 40,796 (52,054)
森林環境の適正な保全 825,007 (724,769) ・水源かん養など機能の低下が懸念される森林整備等 ・森林GISの整備による森林情報の高度化、共有化 ・施業集約化を促進するための支援	県民参画の推進 30,304 (38,848) ・森林環境学習に必要なフィールドの整備、指導者の養成 ・森林ボランティアの養成、森林ボランティアサポートセンターの運営等 ・県立学校における森林環境学習等 ・森林環境情報の発信や森林づくりネットワークの浸透・拡大 ・全国植樹祭準備事業
森林資源の活用による持続可能な社会づくり 186,594 (401,561) ・間伐材の搬出・運搬支援 ・森林整備を促進するための路網整備 ・木質バイオマス利用促進 ・CO2削減と風評払拭に向けた県産材の普及PR ・需要拡大に向けた県産材の活用促進支援	ふくしまの森林文化の継承 7,843 (8,154) ・県内の森林文化の調査、継承に向けた公開体験等
	森林環境の調査 1,331 (3,528) ・森林整備による公益的機能や木材利用による効果等の調査研究
	森林環境基金の運営 1,318 (1,524) ・森林環境基金事業の県民への広報、懇談会の開催等

森林環境を保全するための事業 184,539 (185,376)	もり 森林づくりの意識を醸成するための事業 163,517 (195,408)
森林環境交付金事業【地域提案重点枠】 85,539 (86,376) ・市町村独自の優れた提案事業に重点的に取り組む財源(事業の対象分野) ア 県産材の利活用推進 イ 木質バイオマスの利活用推進 ウ その他	森林環境交付金事業【森林環境基本枠】 163,517 (195,408) ・全ての市町村が継続的に森林づくりに取り組む財源(事業の対象分野) ア 県民参画の推進 イ 森林の適正管理推進 ウ 森林環境学習の推進 エ 森林整備の推進
99,000 (99,000) ・森林整備促進事業 ・間伐材の搬出・運搬支援	

()は平成25年度当初予算

平成25年度森林環境基金事業一覧表(2月補正)
(事業区分別)

福島県 農林水産部 森林計画課
単位:千円

事業名	担当課(室)	2月補正予算			当初予算			増減			基金繰入 対当初比 (a)/(b)	備考
		計	財源内訳		計	財源内訳		計	財源内訳			
			基金繰入金(a)	国庫等		基金繰入金(b)	国庫等		基金繰入金	国庫等		
森林環境の適正な保全		918,007	709,107	208,900	817,769	637,089	180,680	100,238	72,018	28,220	111.3%	
森林整備事業(森林整備促進事業含む)	森林整備課	867,310	675,062	192,248	746,538	596,008	150,530	120,772	79,054	41,718	113.3%	9月補正
森林整備地域活動支援交付金事業	森林計画課	24,978	8,326	16,652	45,225	15,075	30,150	△ 20,247	△ 6,749	△ 13,498	55.2%	2月補正
森林環境適正管理事業	森林計画課	22,969	22,969		23,256	23,256		△ 287	△ 287		98.8%	2月補正
花粉の少ない森林づくり事業	森林整備課	2,750	2,750		2,750	2,750		0	0		100.0%	
森林資源の活用による持続可能な社会づくり		192,594	192,594	0	407,561	193,881	213,680	△ 214,967	△ 1,287	△ 213,680	99.3%	
間伐材搬出支援事業	森林整備課・林業振興課	112,500	112,500		112,500	112,500		0	0		100.0%	
森林整備促進路網整備事業	森林整備課	37,500	37,500		37,500	37,500		0	0		100.0%	
ふくしまの低炭素社会づくり推進事業		29,579	29,579	0	243,641	29,961	213,680	△ 214,062	△ 382	△ 213,680	98.7%	
カーボン・オフセット森森(もりもり)元気事業	森林保全課	304	304		304	304		0	0		100.0%	
緑の住宅普及支援事業	林業振興課	4,275	4,275		4,657	4,657		△ 382	△ 382		91.8%	2月補正
【新】森と住まいのエコポイント事業	建築指導課	25,000	25,000	0	238,680	25,000	213,680	△ 213,680	0	△ 213,680	100.0%	2月補正
もっともっと木づかい推進事業	林業振興課	13,015	13,015		13,920	13,920		△ 905	△ 905		93.5%	2月補正
市町村が行う森林づくり等の推進		249,056	249,056	0	281,784	281,784	0	△ 32,728	△ 32,728		88.4%	
森林環境交付金事業		249,056	249,056		281,784	281,784		△ 32,728	△ 32,728		88.4%	
森林環境基本枠	森林計画課	163,517	163,517		195,408	195,408		△ 31,891	△ 31,891		83.7%	2月補正
地域提案重点枠	森林計画課	85,539	85,539		86,376	86,376		△ 837	△ 837		99.0%	2月補正
県民参画の推進		30,304	30,296	8	38,848	38,840	8	△ 8,544	△ 8,544	0	78.0%	
林業普及推進事業	林業振興課	400	400		400	400		0	0		100.0%	
森林環境学習の森整備事業	森林保全課	10,917	10,917		15,940	15,940		△ 5,023	△ 5,023		68.5%	2月補正
森林ボランティア総合対策事業	森林保全課	7,205	7,205		9,189	9,189		△ 1,984	△ 1,984		78.4%	2月補正
森林づくり指導者育成事業		2,593	2,593		2,789	2,789		△ 196	△ 196		93.0%	
第3期もりの案内人養成事業	森林保全課	1,923	1,923		1,923	1,923		0	0		100.0%	
森林環境学習指導者育成事業	森林保全課	377	377		377	377		0	0		100.0%	
【新】地球と森林を守る指導者養成事業	環境共生課	293	293		489	489		△ 196	△ 196		59.9%	2月補正
県立学校における森林自然学習支援事業	高校教育課	2,036	2,036		2,167	2,167		△ 131	△ 131		94.0%	2月補正
【新】森林とのきずな再生事業		6,463	6,455	8	8,363	8,355	8	△ 1,900	△ 1,900	0	77.3%	
森林環境情報発信事業	森林計画課	5,859	5,851	8	7,326	7,318	8	△ 1,467	△ 1,467	0	80.0%	2月補正
森林づくり活動推進事業	森林保全課	604	604		1,037	1,037		△ 433	△ 433		58.2%	2月補正
【新】全国植樹祭準備事業	森林保全課	690	690		0	0		690	690		皆増	12月補正
ふくしまの森林文化の継承		7,843	7,843		8,154	8,154		△ 311	△ 311		96.2%	
ふくしまの森林文化継承事業		7,843	7,843		8,154	8,154		△ 311	△ 311		96.2%	
ふくしまの森林文化継承事業	森林計画課	5,183	5,183		5,326	5,326		△ 143	△ 143		97.3%	2月補正
木(森)に由来する伝統文化継承事業	林業振興課	2,660	2,660		2,828	2,828		△ 168	△ 168		94.1%	2月補正
森林環境の調査		1,331	1,331	0	3,528	3,528	0	△ 2,197	△ 2,197	0	37.7%	
猪苗代湖水環境保全対策調査事業	水・大気環境課	1,331	1,331		3,528	3,528		△ 2,197	△ 2,197		37.7%	2月補正
森林環境基金の運営		1,318	1,318	0	1,524	1,524	0	△ 206	△ 206	0	86.5%	
森林環境基金運営事業	森林計画課	1,318	1,318		1,524	1,524		△ 206	△ 206		86.5%	2月補正
合計		1,400,453	1,191,545	208,908	1,559,168	1,164,800	394,368	△ 158,715	26,745	△ 185,460	102.3%	
森林環境基金	森林計画課	1,030,297	1,030,297		992,073	992,073		38,224	38,224		103.9%	2月補正
国庫等還付金事業(基金繰入金返還事業)	農林総務課	1	1		0	0		1	1		皆増	9月補正

平成25年度森林環境基金事業の実績見込について

※予算額は2月補正後の額
また（）書きは当初予算額

I 森林環境の適正な保全

1 森林整備事業

(森林整備課)

事業概要

水源区域及び水源かん養又は山地災害防止機能の発揮を重視する森林において、手入れが行われず荒廃が懸念される森林に対し、補助事業により間伐等の森林整備を実施する事業。

・ 森林整備事業 (10/10支援)	予算額：584,422千円 (525,000千円)
・ 森林整備促進事業 (7.5/10支援)	予算額：282,888千円 (221,538千円)
合 計	予算額：867,310千円 (746,538千円)
	(うち森林環境基金：675,062千円、国庫：192,248千円)

○平成25年度実績見込

- ・ 森林整備事業 1,622ha (事業費：584,422千円)
- ・ 森林整備促進事業 678ha (事業費：282,888千円)

森林整備事業の実施状況



森林整備(間伐)実施前状況(西郷村)



森林整備(間伐)実施後状況(西郷村)



作業の様子(福島市)



林業機械による作業の様子(いわき市)

2 森林整備地域活動支援交付金事業

(森林計画課)

事業概要

森林の有する多面的機能の発揮を図る観点から、集約化施策を促進するために必要な森林経営計画の作成支援を行う事業。

- ・森林整備地域活動支援交付金事業 予算額：24,978千円（45,225千円）
（うち森林環境基金：8,326千円、国庫等：16,652千円）

○平成25年度実績見込（事業費：24,978千円）

森林組合等が森林経営計画を作成するために必要な森林情報の収集や森林経営計画への参画における森林所有者の同意取得等の活動に対し支援を行った。

森林経営計画作成促進支援：3,481ha

3 森林環境適正管理事業

(森林計画課)

事業概要

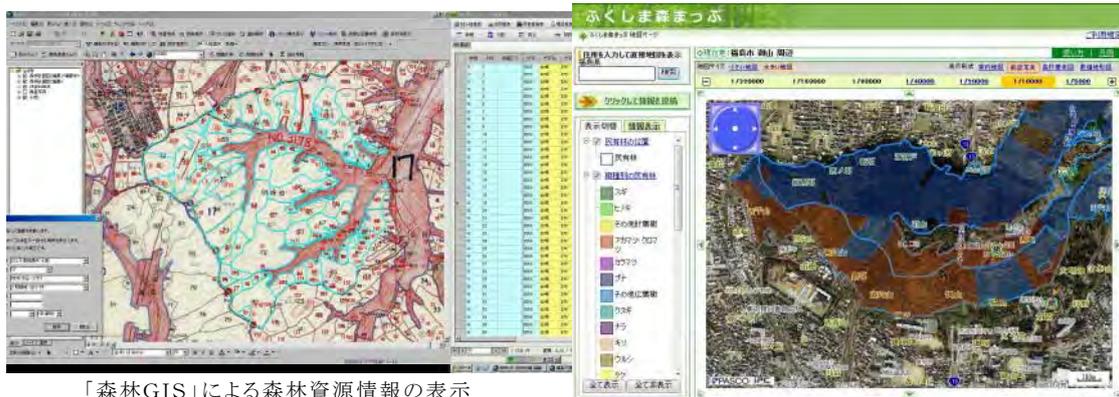
森林環境を適正に管理し業務の効率化を図るために森林GISの運用を行うとともに、地図上で森林情報を確認できるウェブサイト「ふくしま森まっぷ」を活用した県民への情報発信を推進する事業。

- ・森林情報（GIS）活用推進事業 予算額：22,969千円（23,256千円）

○平成25年度実績見込（事業費：22,969千円）

森林GISを構成する①森林資源情報システム、②施業履歴管理システム、③森林情報発信システムの保守・運用業務を委託事業として実施した。

また、OS移行に伴うシステム改修を実施した。



4 花粉の少ない森林づくり事業

(森林整備課)

事業概要

森林環境に配慮した再造林による森林の若返りを図るため、花粉症対策品種苗木を養成するとともに、採種・採穂園の整備により造林地へ花粉症対策苗木の供給を行う事業。

- ・花粉の少ない森林づくり推進事業 予算額：2,433千円（2,433千円）
- ・花粉の少ない苗木づくり促進事業 予算額：317千円（317千円）
- 合 計 予算額：2,750千円（2,750千円）

○平成25年度実績見込

- ・花粉の少ない森林づくり推進事業 さし付け約3,000本（事業費：2,433千円）
- ・花粉の少ない苗木づくり促進事業 さし付け約1,500本（事業費：317千円）

市町村有林の植樹祭等に配付する目的や、採種園、採穂園用の台木とするため、花粉症対策品種のさし付けを行った。



花粉対策品種のさし付け状況

II 森林資源の活用による持続可能な社会づくり

5 間伐材搬出支援事業

(森林整備課・林業振興課)

事業概要

低炭素社会づくりの一環として、これまで搬出・利用が十分に進んでいない間伐材等未利用材の搬出を支援することにより建築・合板用材、燃料等の利用拡大を図り、森林が吸収した二酸化炭素の固定化と二酸化炭素排出量削減を促進する事業。

・ 間伐材運搬経費支援事業	500円/m ³	予算額： 12,500千円 (12,500千円)
・ 林内作業路整備支援事業	500円/m	予算額： 25,000千円 (25,000千円)
・ 間伐材二酸化炭素削減支援事業	1,500円/m ³	予算額： 75,000千円 (75,000千円)
合 計		予算額： 112,500千円 (112,500千円)

○平成25年度実績見込

- ・ 間伐材運搬経費支援事業 25,000m³ 補助額：12,500千円
- ・ 林内作業路整備支援事業 50,000m 補助額：25,000千円
- ・ 間伐材二酸化炭素削減支援事業 50,000m³ 補助額：75,000千円

間伐材の利用促進を図るため、間伐材の搬出に必要な作業路の整備及び原木市場、木質燃料加工施設等への間伐材の運搬を支援した。



間伐材搬出支援事業による
間伐材運搬のための積み込み



林内作業路整備支援事業により開設した
作業路を利用した間伐材の搬出(南会津町)

6 森林整備促進路網整備事業

(森林整備課)

事業概要

路網の未整備により間伐等が遅れている森林に対し、作業道を開設することで森林整備と搬出の促進を図り、森林環境の保全及び森林資源の活用により低炭素社会づくりを目指す事業。

- ・ 森林整備促進路網整備事業 4,200円/m 予算額：37,500千円 (37,500千円)

○平成25年度実績見込

- ・ 森林整備促進路網整備事業 12,492m (事業費：37,500千円)
〔うち平成26年度への繰越 3,550m (事業費：12,027千円)〕

水源区域及び水源かん養機能又は山地災害防止機能を重視する森林に対して、継続的な森林整備の促進を図るため、トラックが通行可能な耐久性のある作業道を開設する経費を助成した。



作業道の作設状況(田村市)



作業道の利用状況(国見町)

7 ふくしま低炭素社会づくり推進事業

(林業振興課・森林保全課)

事業概要

県民が一体となった低炭素型社会の形成を進めるため、林業関係者以外による森林整備の推進や木材の利用促進を図る事業。

- | | |
|-----------------------|----------------------|
| ・カーボンフセット森森(もりもり)元気事業 | 予算額：304千円(304千円) |
| ・緑の住宅普及支援事業 | 予算額：4,275千円(4,657千円) |
| 合計 | 事業費：4,579千円(4,961千円) |

○平成25年度実績見込

- ・カーボンフセット森森(もりもり)元気事業(事業費：304千円)

企業・団体等が社会貢献活動として行う森林整備活動において、今年度は、新たに1社について森林づくり活動協定を締結した。

株式会社みずほフィナンシャルグループ



平成25年4月24日 企業の森林づくり協定締結



平成25年10月19日 企業の森林づくり活動

・緑の住宅普及支援事業（事業費：4,275千円）

県産材を利用した住宅の建設促進のため、復興関連イベントへの県産材住宅モデルの出展・展示、家づくりワークショップ等の普及啓発活動を実施するとともに、県産材の安全性等に関する普及資料の作成を行った。

①住宅モデルを出展・展示したイベント

会津ブランドものづくりフェア（会津若松市）

ふくしまみんなの住宅フェア（いわき市）

うつくしま住まいとリフォーム博2014（郡山市）

②家づくりワークショップ等（11回開催） 参加者数（合計）300名



住宅モデルを展示したイベント
（ふくしまみんなの住宅フェア）



家づくりワークショップ（木の家講座）

8 森と住まいのエコポイント事業

（建築指導課）

事業概要

森林環境の保全と再生、被災者等の住宅再建等を促進するため、県内の工務店等により県産木材を使用して住宅の新築・増改築・購入を行う方に対し、地域の農林水産品等と交換可能なポイントを交付する事業。

・森と住まいのエコポイント事業 予算額：25,000千円（238,680千円）

○平成25年度実績見込（事業費：25,000千円）

構造材及び間柱に所定の県産木材を使用するなどの要件を満たす住宅の建築主に対し、1戸あたり20万円相当（被災者等は30万円相当）の補助を行い、県産木材の利用促進を図った。

補助実績：105棟（うち被災者等への補助は30棟）



本事業を活用した住宅の内観（下郷町）



本事業をPRするテレビ取材の様子（福島市）

事業概要

公共施設の木質化や学校教育現場における木育活動の推進等によって、県民の木材利用に対する意識を醸成し、一般住宅等民間建築物における県産材の利用拡大やバイオマスイエネルギー利用機器の普及を図り、低炭素型社会の実現に資するための事業。

・木景観形成促進事業	予算額： 5,000千円 (5,000千円)
・新「ほっと」スペース創出事業	予算額： 3,500千円 (3,500千円)
・木とのふれあい創出事業	予算額： 1,995千円 (2,900千円)
・バイオマス暖房でCO2ダイエット事業	予算額： 2,520千円 (2,520千円)
合 計	予算額： 13,015千円 (13,920千円)

○平成25年度実績見込

・木景観形成促進事業（事業費：5,000千円）

県内民間団体等を事業主体とし、提案公募型での県産材を活用した施設の整備に対し支援を行った。

- ① 二本松市の岳温泉内にある遊歩道に木製テーブル及びベンチを整備した。
- ② 郡山市の熱海町（磐梯熱海温泉）周辺に木製案内看板を整備した。
- ③ 国見町の特別養護老人ホーム交流スペースに、応接テーブルセット等を整備した。
- ④ 西郷村の甲子温泉遊歩道内に登山届用ポスト、ベンチ等を整備した。
- ⑤ 伊達市のアジサイ公園内に間伐材を利用した歩道と案内板を整備した。

・新「ほっと」スペース創出事業（事業費：3,500千円）

高等学校、職業能力開発校等とデザイン・製品製作について連携しながら、公共建築物等にPR性の高い県産材製品を設置・展示した。

- ① 特別養護老人ホーム「アリヴェーレ宝生園」に木製ベンチ・テーブルを設置した。
- ② キッズパーク（福島市）に木製フローリングパネル、平均台、遊具を設置した。
- ③ 特別養護老人ホーム「ひまわり園」に木製ベンチ・テーブルを設置した。
- ④ 県立清陵情報高等学校に木製ベンチを設置した。
- ⑤ 農業総合センター農業短期大学校及び県庁舎に木製テーブル及び椅子を設置した。
- ⑥ 福島県昭和の森に木製ベンチ・テーブルを設置した。
- ⑦ 会津鉄道会津田島駅に木製ラックを設置した。
- ⑧ 特別養護老人ホーム「いいたてホーム」に本棚・キッチン台・花台等を設置した。
- ⑨ 社会福祉法人「ハートフルなこそ」に木製ベンチを設置した。

・木とのふれあい創出事業（事業費：1,995千円）

木を学び親しむ機会を創出するため木工工作用資材を配布するとともに、各方部において出前講座の実施を行った。

・バイオマス暖房でCO2ダイエット事業（事業費：2,520千円）

木質バイオマスイエネルギー利用機器の民間における導入支援（48台）を行った。

（ペレットストーブ、薪ストーブ、補助額：5万円/台）



新「ほっと」スペース創出事業
会津農林高等学校の生徒による
製品設置（福島県昭和の森）



木とのふれあい創出事業
いわきで開催された出前講座

III 市町村が行う森林づくりの推進

10 森林環境交付金事業

(森林計画課)

事業概要

県民一人一人が参画する新たな森林づくりを効果的に進めるため、市町村が独自性を発揮して創意工夫を凝らした事業を展開することができるよう、森林環境基金の一部を交付する事業。

- ・ 森林環境基本枠 予算額：163,517千円 (195,408千円)
全ての市町村に対し一定の取り組みを継続的に実施できるよう支援
対象分野：①県民参画の推進、②森林の適正管理推進、③森林環境学習の推進、
④森林整備の推進
 - ・ 地域提案重点枠 予算額：85,539千円 (86,376千円)
市町村の創意工夫による優れた提案事業
対象分野：①県産材の利活用推進、②木質バイオマスの利活用推進、③その他
- 合 計 予算額：249,056千円 (281,784千円)

○平成25年度実績見込

・ 森林環境基本枠 (事業費：163,517千円)

54市町村、事業費：163,517千円 (震災の影響により5町村で未実施)

最大：9,423千円 (南会津町)、最小：411千円 (桑折町)、平均：3,028千円

森林環境学習実施校 小学校281校、中学校76校、計357校 (全736校の49%)



森林環境学習の推進(三島町)



県民参画の推進(石川町)

・ 地域提案重点枠 (事業費：85,539千円)

要 望：20市町村、52件、93,994千円

採 択：20市町村、52件、93,994千円

実 績：20市町村、51件、85,539千円

- ①県産材の利活用推進 (19市町村、41件、65,554千円)
- ②木質バイオマスの利活用推進 (4市町村、5件、5,154千円)
- ③その他 (3市町、5件、14,830千円)



県産材の利活用推進(飯館村)



木質バイオマスの利活用推進(鮫川村)

IV 県民参画の推進

11 担い手緑化推進事業（林業普及推進事業費）

（林業振興課）

事業概要

森林・林業・木材産業の果たす役割や県民参画による森林づくりを推進するために開催している林業祭において、森林・林業・木材産業のPRを行い理解促進を図るための事業。

- ・担い手緑化推進事業 予算額：400千円（400千円）

○平成25年度実績見込（事業費：400千円）

第38回福島県林業祭は、平成25年10月26日、27日の開催に向け、ポスター・チラシ・パンフレットの作成やスタンプラリー・木工体験等のイベント開催の準備を進めていたが、台風27号及び28号の接近が見込まれたため、予定を変更し「林業復興鼎談」（テーマ：森林からはじめよう！）のみ実施し、森林・林業・木材産業の震災からの復興と理解促進を図った。来場者：130名



林業復興鼎談の実施

12 森林環境学習の森整備事業

（森林保全課）

事業概要

全ての県民が、森林環境税の重要性や林業の役割についての学習等の場並びに森林とのふれあいの場として容易に利用できるフィールドの整備を行う事業。

- ・県有林フィールド整備事業 予算額：10,917千円（15,940千円）

○平成25年度実績見込（事業費：10,917千円）

森林環境税の重要性や森林環境学習の場として、容易に利用できるフィールドの整備を行った。

13 森林ボランティア総合対策事業

（森林保全課）

事業概要

県民参加による森林づくり運動を推進するため、県民への森林ボランティア活動への参加支援と森林整備ボランティアの核となる人材育成を行う森林ボランティアサポートセンターを運営するとともに、県内各地域において積極的な森林整備活動を行うボランティア団体の活動支援を行い、県民の森林づくり推進に向けた総合的な環境整備を行い、「循環の理念」の具現化を図るための事業。

- ・森林ボランティア活動推進事業 予算額：1,612千円（3,500千円）
 - ・森林ボランティアサポート事業 予算額：5,593千円（5,689千円）
- 合 計 予算額：7,205千円（9,189千円）

○平成25年度実績見込

・森林ボランティア活動推進事業（事業費：1,612千円）

森林整備活動や森林づくり意識醸成活動などを実施した10団体に対して1,612千円を補助した。

・森林ボランティアサポート事業（事業費：5,593千円）

森林ボランティアサポートセンターを引き続き「県民の森」内に設置し、ホームページ及び広報誌（森ボラ新聞4回発行）によるイベントなどの情報提供、相談業務、森林整備機材の貸出等を行った。（アクセス件数(4～1月)：67,141件、平均：6,714件/月）



森林ボランティアサポートセンターHP



サポートセンターの活動の様子

14 森林づくり指導者育成事業

(森林保全課)

事業概要

一般県民及び児童生徒等の森林環境学習を推進するため、指導者の育成を行う事業。

- ・第3期もりの案内人養成事業 予算額：1,923千円 (1,923千円)
- ・森林環境学習指導者育成事業 予算額： 377千円 (377千円)

合計 予算額：2,300千円 (2,300千円)

○平成25年度実績見込

・第3期もりの案内人養成事業（事業費：1,923千円）

森林とのふれあいを通して森林の役割や重要性を広く県民に伝えるボランティアである指導者の育成を行った。受講者17名。

・森林環境学習指導者育成事業（事業費：377千円）

森林環境及びその指導方法について、特に専門的な知識と指導技術に関する研修会を開催し、指導技術の一層の向上を図りながら、森林環境学習の場において活躍できる指導者を育成した。参加者21名。



第3期もりの案内人養成講座の開催状況

15 地球と森林を守る指導者養成事業

(環境共生課)

事業概要

地球温暖化問題の対策の一つである二酸化炭素吸収源としての森林環境保全の重要性を、地球温暖化防止活動推進及び獣医師等が森林環境保全を担う指導者として学び、地域における活動に生かすことで、森林環境に対する県民の意識の高揚につなげるため、森林環境に関する研修を行う事業。

- ・地球と森林を守る指導者養成事業 予算額：293千円（489千円）

○平成25年度実績（事業費：293千円）

平成25年11月7日（木）にフォレストパークあだたらで開催した。

（公財）ふくしまフォレスト・エコ・ライフ財団の弦間氏より「森林の役割」について講話をいただき、分科会として、地球温暖化防止活動推進員については、福島県もりの案内人の会の協力をいただいて、「森林内での野外活動」について学び、獣医師及び鳥獣保護員については、「野生動物保護管理分野における獣医師の役割」などについて学んだ。

（研修参加人数：46名）



講話「森林の役割」の様子



講座「森林内での野外活動」の様子

16 県立学校における森林自然学習支援事業

(高校教育課)

事業概要

県立学校が行う森林の環境に関する学習、森林の管理に関する学習、森林資源の利用に関する学習、地域における森林の役割に関する学習及び森林に関わる職業に関する学習に対する活動費を支援する事業。

- ・県立学校における森林自然学習支援事業 予算額：2,036千円（2,167千円）

○平成25年度実績（事業費：2,036千円）

実施校数11校

①岩瀬農業高校

森林周辺の肥沃な湿地帯に群生するサギソウは、森林環境の影響を強く受ける。「サギソウ」の保護活動を通して、森林の重要性と環境保護への理解を深めるとともに、発表や地域住民との交流を通して地域への情報発信と学校理解への深化を図った。今年度は、森林環境基金事業成果発表会で活動内容を発表した。

②修明高校鮫川校

村の基幹産業についての理解を深め、その良さを自覚することにより、自主性や意欲を高めるとともに生徒同士の連帯感を培うことができた。また、森林への興味関心が高まり、1年生全員が一般財団法人日本森林林業振興会主催「平成25年度山火事ポスター用原画・標語募集」の標語の部に応募し、1名が日本森林林業振興会長賞優秀作品に選出された。

③耶麻農業高校

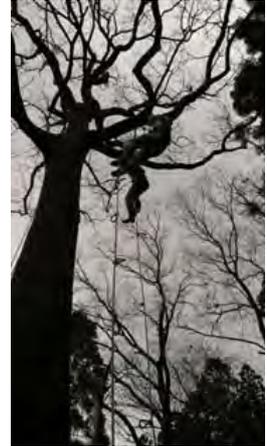
専門家を迎え、炭窯づくりや白炭作成を実際に行ったことにより、森林環境保全や樹木への興味関心を高めることができた。学校評議員会では、作成した炭を使ったフラワーアレンジメントについて、室内環境の浄化と癒しの面からとても興味深く感じられるとの評価を得た。また、活動内容を保護者へ配付したり、喜多方市地域回覧により山都町全域に広報した。

④川口高校

奥会津の植生を学ぶなかで、日本ミツバチの生態について大学教授の講演会により学習し、新聞にも取り上げられた。絵ろうそく作り、漆塗り、桐細工などを体験し、作品を学校玄関に飾った。保護者や地域の方々から地域資源の活用として好評を得た。

⑤会津農林高校

ツリークライミングを通して森林の魅力を感じるとともに、仕事にも応用できる技術と考え、高校卒業後の進路を重ねる生徒もいた。講演会では実際の体験談や自分自身で仕事をつくっていく行動力に生徒は感銘を受け、職業選択の選択肢の一つとして、積極的に林業を考えたいという生徒が増えた。小学校との交流事業は昨年度より1校増え3校と交流した。また、県の農林事務所から梯子を借り、例年より高い位置まで枝打ちの実習ができた。



ツリークライミングの実習

⑥田島高校

郷土資料から「南会津の木地挽き」のことを調べ、現在の地域産業の発展には、地域の文化や歴史と深い関連があることを理解し、研究結果を校内に展示して広報した。また、ロクロ挽きを体験し、作成した作品を校内展示し、当事業の報告発表とした。

⑦南会津高校

2回の林業体験学習と講話を通して、森林と自分たちの生活との関係や、森林保全・治山事業などが地域社会に果たしている役割について理解を深めさせることができた。また、この地域の教材を生かした教育活動が実践でき、「地域とともに生きる」ことを考えさせることができた。また、学年通信を通して保護者への広報に努めた。

⑧相馬農業高校

学校敷地及び農場に樹木プレートを多数設置することで、樹木についての興味・関心を高めることができた。プレートにより観察、鑑定が容易となり学習の効果を高めるとともに保護者や地域の方々に学校にある多数の樹木について理解してもらうきっかけとなった。

⑨あぶくま養護学校

海老根和紙手漉き体験では、地域の人々との交流を通して伝統文化についての理解を深めることができた。自然の材料を使って作り上げられる和紙作りを体験し、自然の不思議さや自然との共生について考えを巡らせることができたと同時に、紙漉きを伝える人々の働く姿を通して伝統文化を伝えることの大切さを考えることができた。当事業で取り組んだことを学年だよりや学級だより等に掲載し、保護者や関係機関等に周知した。また、作品や写真などを校内に展示した。

⑩会津養護学校竹田分校

会津自然の家で火おこしの体験をし、その火を利用して竹炭作りを行った。また、間伐材を利用し、置物作りを行った。また、鶴ヶ城などで自然の音を聞いたり、植物や木を観察することで、身近な自然についての調べ学習を行った。一連の学習により森林資源の利用への関心が高まった。

⑪会津学鳳中学校

森林生態系への理解と関心を深めるとともに、人と豊かに関わる力を育むため、磐梯山周辺の自然観察を通して、森林での体験型学習を実施した。また、福島県産の間伐材を利用したプランターの製作を通して林業や森林資源の理解と関心を深めながら、森林環境学習を総合的に展開した。

事業概要

震災や原子力災害発生以降の福島県の森林の現状に対する理解を深めるとともに、森林づくりの県民運動としての浸透や拡大を図るため、森林環境に関する情報発信と、森林づくり活動の支援及び平成30年全国植樹祭の招致に向けた検討を行う事業。

- ・森林環境情報発信事業 予算額：5,859千円(7,326千円)
 - ・森林づくり活動推進事業 予算額：604千円(1,037千円)
- 合 計 予算額：6,463千円(8,363千円)

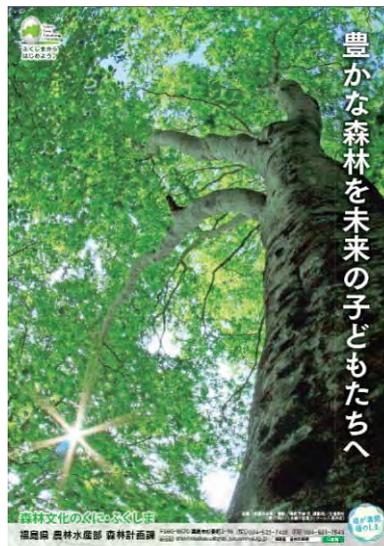
○平成25年度実績

・森林環境情報発信事業（事業費：5,859千円）

新聞広告、県政テレビ番組、ポスター及びパンフレット等により、森林環境税を活用した取組のほか、森林の整備と再生や県産材の利活用、森林づくりの推進などについての発信した。



全国的なイベントでのPR
(平成25年7月11日、南会津町御蔵入交流館)



森林環境情報パンフレット・ポスター



県政広報テレビ番組
「キビタンGO!～ふくしまから はじめよう。～
森林(もり)を守り育て未来へつなごう」
(平成26年2月25日、福島テレビ)

・森林づくり活動推進事業（事業費：604千円）

全国植樹祭の既開催県である山口、鳥取、H26開催県の新潟へ調査を行った。森林づくり検討委員会を3回開催し、「森林づくり活動推進についての提言」をいただいた。

- 第1回（平成25年6月11日）
検討事項の確認、県内における森林づくり活動の現状、
他県の森林づくり活動と本県の取組、森林環境情報の発信について
- 第2回（平成25年9月18日）
他県の森林づくり活動に係る調査について
森林づくり活動に関する委員会提言の骨子(案)について
- 第3回（平成25年12月19日）
森林づくり活動推進についての提言(案)について
森林づくり活動推進についての提言（平成25年12月20日）



森林づくり検討委員会開催



森林づくり活動推進についての提言

18 全国植樹祭準備事業

(森林保全課)

事業概要

平成30年全国植樹祭の招致へ向けた「全国植樹祭福島県準備委員会」を開催する事業。
 ・全国植樹祭準備事業 予算額：690千円（0千円）

○平成25年度実績

・全国植樹祭準備事業（事業費：690千円）

全国植樹祭福島県準備委員会を2回開催した。

第1回（平成26年1月30日）

全国植樹祭福島県準備委員会設置要綱(案)について

全国植樹祭、スケジュール、基本構想の策定について

第2回（平成26年3月27日）（予定）



全国植樹祭福島県準備委員会の開催



第21回全国植樹祭(昭和45年)会場の現在の様子(猪苗代町 昭和の森)

V 森林文化の継承

19 ふくしまの森林文化継承事業

(森林計画課)

事業概要

先人たちが育ててきた森林と人の絆（つながり）である森林文化や木の文化を改めて見直し、現代生活に活かしていくため、県民への普及PR事業を行うための事業。

- ・ふくしまの森林文化継承事業 予算額：5,183千円（5,326千円）
- ・木（森）に由来する伝統文化継承事業 予算額：2,660千円（2,828千円）

合 計 予算額：7,843千円（8,154千円）

○平成25年度実績見込

・ふくしまの森林文化継承事業（事業費：5,183千円）

- ①森林文化調査業務を特定非営利活動法人超学際的研究機構に委託し、県内の森林文化の調査を実施した。森林文化調査検討委員会を2回開催し、有識者の意見を踏まえて実施した調査結果を調査カードに取りまとめるとともに、森林文化を継承していくための記録映像を3本作成した。

記録映像

- ・カジゴ焼き（只見町 三瓶栄一氏、三瓶利之氏、矢沢一男氏）
- ・野鍛冶（いわき市 長谷川昭三氏）
- ・わら細工（大玉村 橋本巳吉氏、官野昭二氏、後藤源義氏、武藤英雄氏）

- ②森林文化公開体験事業を財団法人ふくしまフォレスト・エコ・ライフ財団に委託し、中通りの里山の森林文化をテーマに、ふくしま県民の森フォレストパークあだたらにおいて四季ごとの公開体験プログラムを実施した。参加者合計176名。

- ・夏の部「里山の竹を使って遊ぼう！」平成25年8月9日（金）～11日（日）
- ・秋の部「収穫の秋と冬の準備」平成25年11月4日（月・祝）
- ・冬の部「冬のくらし炭焼き」平成25年12月14日（土）・15日（日）
- ・春の部「春の恵みを味わおう」平成26年3月16日（日）



福島県の森林文化に係る
調査検討委員会の開催



県民の森での公開体験プログラムの実施

・木（森）に由来する伝統文化継承事業（事業費：2,660千円）

- 木（森）に由来する伝統文化継承事業体験イベント開催業務を会津流域林業活性化センターに委託し、「未来につなごう！会津桐」をテーマに、三島町において、桐苗木植栽及び桐下駄づくり体験を実施した。



桐苗木植栽体験終了後の記念撮影



桐下駄鼻緒付け体験の様子

VI 森林環境の調査研究

20 猪苗代湖水環境保全対策調査事業

(水・大気環境課)

事業概要

紺碧の猪苗代湖を復活させ、水辺環境保全に向けた活動を県民が一丸となって積極的に推進していくことを目的として、水質汚濁原因物質の調査や、農地・山林からの排出負荷実態調査などを実施し、猪苗代湖の水質改善に向けた検討を行うための事業。

- ・猪苗代湖水環境保全対策調査事業 予算額：1,331千円 (3,528千円)

○平成25年度実績見込 (事業費：1,331千円)

「猪苗代湖流域における山林負荷実態調査」として、猪苗代湖流域における森林施業が水環境に与える影響及び効果を把握するため、森林整備区域内等の溪流の水質調査を委託により実施した。

- ・調査実施場所：猪苗代町若宮地区 8地点
- ・調査回数・時期：14回/年 (5月～11月：各2回)
- ・調査項目：水温、透視度、流量、窒素、りん、COD等



調査地点の事前調査の様子



採水の様子

VII 森林環境基金の運営

21 森林環境基金運営事業

(森林計画課)

事業概要

森林環境基金事業の適正な執行と透明性を確保するため、「森林の未来を考える懇談会」を運営するとともに、森林環境税に対する県民の理解を深めるため、成果発表会により県民や関係者と情報共有等を行う事業。

- ・森林の未来を考える懇談会運営事業 予算額：877千円 (1,066千円)
- ・森林環境税関連施策検討事業 予算額：411千円 (458千円)
- 合 計 予算額：1,318千円 (1,524千円)

○平成25年度実績見込

- ・森林の未来を考える懇談会運営事業 (事業費：877千円)

森林の未来を考える懇談会を4回開催した。

第1回 (平成25年7月9日)

平成25年度懇談会の開催スケジュール、平成24年度事業の実績、平成25年度事業の実施概要、森林づくり検討委員会の検討状況について、森林除染及び森林再生対策の推進について、海岸防災林の復旧について

第2回（平成25年10月29日・30日）

事業実施箇所現地調査、意見交換

第3回（平成25年12月25日）

森林環境基金事業の評価、森林文化の復興に向けた取組について、
森林づくり県民運動の推進について、
森林づくり検討委員会の検討状況について、
森林林業関係の重点施策について

第4回（平成26年3月25日）

平成25年度事業の進捗状況、平成26年度事業の概要、
森林環境情報発信の取組について、
全国植樹祭福島県準備委員会の検討状況について



森林の未来を考える懇談会
開催の様子



森林の未来を考える懇談会
現地調査の様子

・森林環境税関連施策検討事業（事業費：411千円）

平成25年8月7日に森林環境基金事業成果発表会を開催し、森林環境学習を中心に、小学校や市町村等の担当者による8題の発表があり、取組みについての情報交換等と県民へのPRを行った。



森林環境基金事業成果発表会の様子